

横井小楠 （字） 熊本藩士。文化六年八月十二日肥後國生れ、明治一
 年一月五日歿（二八〇元一六九）。諱時存、字子操、幼名又雄、通稱平四郎。
 別號治山、畏齋、小楠堂主等。藩費時習館、小塾、大保十年江戸へ遊
 學、歸藩後江戸永全等と實學書を興す。安政五年越前藩に招かれ殖産
 事業を推進。文久二年歸國と知行割奪、藝伎處分を受く。明治元年新
 政治參與、翌年京都で暗殺せられた。

著書『小楠遺稿』（明治二十二年十一月）二十五日横井時雄編刊、民友
 社）、『横井小楠文』（明治二十九年七月）二十四日友社『少年傳記叢
 書』號外）等。

文献、赤尾藤市著『横井小楠』（再版・昭和十七年二月十五日）二教書
 院『偉人叢書』（上田注二郎著『横井小楠』（昭和十七年九月十八
 日啓文社）、坂田大著『横井小楠の思想』（昭和十七年二月十五日）
 熊本・九州時報社）等。